

UNEP FI 東京会議 20周年記念シンポジウム

Sustaining Value ~A Symposium of Finance and Sustainability~

日時

2023.11.13 月

15:00-19:00 (14:30 受付開始)

会場

大手町フィナンシャルシティ
サウスタワー3階 カンファレンスセンター
東京都千代田区大手町1-9-6



アクセス

電車でお越しの方

- ・東京メトロ大手町駅直結（最寄り出口：A1出口）
- ・JR 東京駅丸の内北口より徒歩7分

主催 UNEP FI(国連環境計画・金融イニシアティブ)

共催 日本政策投資銀行

UNEP FI 東京会議 20 周年記念シンポジウム

2023.11.13

15:00-15:05	開会挨拶	末吉 竹二郎氏	UNEP FI 特別顧問
15:05-15:10	ご挨拶	Nirrita Talukdar 氏 Eric Usher 氏	UNEP FI アジア太平洋地域コーディネーター UNEP FI Head
15:10-15:15	ご挨拶	鎌水 洋氏	環境省 総合環境政策統括官
15:15-15:25	基調講演	玉木 林太郎氏	国際金融情報センター (JCIF) 理事長
「環境経営・金融の歴史の振り返り」			
15:25-15:50	パネル ディスカッション ①	ファシリテーター 足達 英一郎氏 パネリスト (五十音順) 高田 英樹氏 長村 政明氏 原口 真氏	日本総合研究所 常務理事 金融庁 総合政策局総合政策課長 東京海上ホールディングス フェロー (国際機関対応) MS&AD インシュアランスグループホールディングス TNFD 専任 SVP
「環境金融の取組状況と課題～事業者側からの視点も踏まえて～」			
15:50-16:20	パネル ディスカッション ②	ファシリテーター 水口 剛氏 パネリスト (五十音順) 金井 司氏 木村 晋氏 林 真弓氏 水谷 高氏 山本 卓也氏	高崎経済大学 学長 三井住友信託銀行 フェロー役員 日本政策投資銀行 サステナブルソリューション部長 住友化学 レスポンシブルケア部 主席部員 芙蓉総合リース 参与 CSV 推進室長 滋賀銀行 総合企画部 サステナブル戦略室 サステナブル推進グループ長
16:20-16:35	休 憩		
「クライメート・トランジション」			
16:35-17:15	パネル ディスカッション ③	ファシリテーター 竹ヶ原 啓介氏 パネリスト (五十音順) 太田 悟史氏 梶川 文博氏 佐野 和秀氏 田吉 禎彦氏 新見 泰寛氏	日本政策投資銀行 設備投資研究所長 三菱 UFJ 銀行 サステナブルビジネス部 業務推進グループ次長 経済産業省 産業技術環境局 GX 金融推進室長 兼 GX 推進機構設立準備室長 三井住友銀行 サステナブルソリューション部 ソリューショングループ長 脱炭素化支援機構 代表取締役社長 みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部 副部長
「社会課題に対する金融の役割」			
17:15-17:45	パネル ディスカッション ④	ファシリテーター 中空 麻奈氏 パネリスト (五十音順) 石井 葉穂子氏 岸本 幸子氏 越 直美氏	BNP パリバ証券 グローバルマーケット統括本部副会長 東京大学理事、未来ビジョン研究センター 教授、 グローバル・コモンズ・センター ディレクター パブリックリソース財団 代表理事・専務理事 三浦法律事務所 弁護士
17:45-17:55	総括	増田 真男氏	日本政策投資銀行 常務執行役員
17:55-18:00	閉会挨拶	地下 誠二氏	日本政策投資銀行 代表取締役社長
18:00-19:00	立食レセプション		

2023年11月13日(月)
UNEP FI 東京会議 20周年記念シンポジウム
～プログラム詳細～

■ 背景・目的

- 2003年10月、アジア初のUNEP FI国際会議として「UNEP FI 東京会議」が開催され、「金融が持続可能な社会と価値の実現に向けて果たす役割」をテーマに、国内外の主要な金融機関、国際機関、NGO・NPO等が集まり、活発な議論が行われました。
- UNEP FI 東京会議閉会に際し、世界各国のUNEP FI署名機関の総意として、コンファレンス・ステートメント「東京原則」が発表され、「環境の保全もしくは社会の持続的発展に資する金融の開発」が掲げられるなど、日本の環境金融の事始めとなりました。
- 本イベントでは、UNEP FI 東京会議 から20年を経た国内の環境金融市場の課題と展望について、UNEP FIに加盟する我が国金融機関の実務者を中心にパネルディスカッションを行い、国内市場参加者の理解浸透や課題再認識の場とすることを目指しております。
- また、事業会社、行政、アカデミアの視点を交えて交流することで、相互啓発の機会、ネットワーキングの機会となりますと幸いです。

■ 各セッション概要・登壇者のご紹介

全体司会： 阪田 陽子氏

15:00-15:05	開会挨拶
末吉 竹二郎氏 (ビデオレター) UNEP FI 特別顧問	
15:05-15:10	ご挨拶
Nirnita Talukdar 氏 UNEP FI アジア太平洋地域コーディネーター Eric Usher 氏 (ビデオレター) UNEP FI Head	
15:10-15:15	ご挨拶
鑓水 洋氏 環境省 総合環境政策統括官	
	大蔵省入省。同省理財局次長、国税庁次長、環境省大臣官房長等を経たのち、総合環境政策統括官となり、環境基本計画の策定や環境教育、環境アセスメント、環境研究・技術、環境金融の推進等環境の保全に関する分野横断的な基本的施策に携わる。 2023年7月より現職。
15:15-15:25	基調講演
玉木 林太郎氏 国際金融情報センター(JCIF) 理事長	
	1976年大蔵省入省。OECD(経済協力開発機構、パリ)事務局職員(1978~80、1983~86)、世界銀行理事代理(1994~97、ワシントン)、在米日本大使館公使(2002~05)、財務省国際局長、財務官(2009~11)。2011年から6年間、OECDで事務次長として金融・企業・税制・環境・開発・マクロ経済・グリーン成長などを担当。2017年10月より現職。 1953年11月12日生。東京大学法学部卒業。日本ソムリエ協会認定シニア・ソムリエ。

テーマ：環境経営・金融の歴史の振り返り

UNEP FI 東京会議で「東京原則」が採択されてから現在に至るまでの環境金融の成果に触れつつ、今後の方向性について議論。具体的には、環境金融を取り巻く枠組みが、UNEP FI による自由規範から、TCFD、PRI 等の民間機関による規範、更には政策立案者や開示規制者による規範へと移りつつある中、今後の環境金融の方向性や、それを踏まえた UNEP FI の活動に対する期待について議論。

ファシリテーター

足達 英一郎氏 日本総合研究所 常務理事



民間企業の勤務を経て、1990 年同社入社。1999 年、日本でエコファンドが誕生した年から ESG アナリストの業務に従事し、2006 年から ESG リサーチセンター長を長く務めた。現在、金融庁サステナブルファイナンス有識者会議メンバー、株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役会サステナビリティ委員会委員、農林中央金庫サステナビリティ・アドバイザー・ボードメンバー。2005 年 03 月～2009 年 05 月には、ISO26000(組織の社会的責任に関する国際規格)作業部会日本国エキスパート。現在は、ISO TC322 (サステナブルファイナンス技術専門委員会) 日本国エキスパート。

パネリスト(五十音順)

高田 英樹氏 金融庁 総合政策局総合政策課長



1995 年大蔵省(現財務省)入省。主計局、主税局、大臣官房等を歴任。1997～99 年、英国留学。2003～06 年、英国財務省に outward。2015～18 年、パリ・OECD(経済協力開発機構)に outwardし、グリーン・ファイナンス(環境金融)を担当。帰国後、私的な活動として Green Finance Network Japan を発足・運営。2021 年 3 月、内閣官房気候変動対策推進室総括参事官。同年 7 月、財務省主計局主計官(総務省・地方財政担当)。2022 年 1 月、金融庁総合政策局総合政策課長に就任し、サステナブル・ファイナンスの推進を含む、金融庁の諸政策の企画・調整を担当。東京大学法学部卒、ケンブリッジ大学法律学修士、ロンドン大学(インペリアル・カレッジ・ロンドン)経営学修士。

長村 政明氏 東京海上ホールディングス フェロー(国際機関対応)



東京海上火災保険入社。同社本店営業第四部、営業開発第一部、火災新種業務部、米国支店・シカゴ事務所を経て、経営企画部にて保険規制の国際標準策定論議担当、CSR 室長を歴任。2021 年 4 月より現職。
金融安定理事会(FSB)・気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)メンバー(2016 年 1 月～2017 年 7 月、2021 年 1 月～2023 年 9 月)。

原口 真氏 MS&AD インシュアランスグループホールディングス TNFD 専任 SVP



エンジニアリング企業に就業後、三井住友海上に入社し、MS&AD インターリスク総研に outward。企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)、いきもの共生事業推進協議会(ABINC)等、多数のサステナビリティ経営イニシアティブの発起と運営に携わる。政府の各種委員会に従事。
2021 年 9 月より現職。
東京大学農学系大学院修士課程修了(1990)

テーマ：環境金融の取組状況と課題～事業者側からの視点も踏まえて～

UNEP FI 東京会議を契機に進展した環境金融の現在地を確認しつつ、今後の更なる発展に向けて必要な要素を金融機関と事業者双方の目線で議論。具体的には、UNEP FI 東京会議からの 20 年間における、環境金融やサステナブルファイナンスの成果や課題を再確認した上で、今後金融機関が意識すべき視点や要素を議論。

ファシリテーター

水口 剛氏 高崎経済大学 学長



商社、監査法人等の勤務を経て、1997 年高崎経済大学講師。准教授、教授の後、2021 年より現職。専門は責任投資(ESG 投資)、非財務情報開示。環境省「グリーンファイナンスに関する検討会」座長、金融庁「サステナブルファイナンス有識者会議」座長等を歴任。主な著書に『責任ある投資』(岩波書店)、『ESG 投資』(日本経済新聞出版社)、『サステナブルファイナンス最前線』(編著、きんざい)など。筑波大学卒、明治大学博士(経営学)。

パネリスト(五十音順)

金井 司氏 三井住友信託銀行 フェロー役員



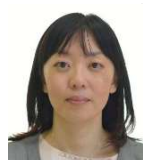
住友信託銀行(現三井住友信託銀行)入社。ロンドン支店、年金運用部等を経て、2003 年より企画部。サステナビリティ部署の立ち上げを主導し、グループのサステナビリティ業務を牽引。2018 年 4 月よりフェロー役員。この間、企業年金向け SRI(ESG)ファンド、自然資本評価型環境格付融資、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの開発、環境不動産業務の立ち上げ、テクノロジー・ベースド・ファイナンスチーム(理系専門部隊)の組成等を手掛ける。「21 世紀金融行動原則」及び「インパクト志向金融宣言」の初代運営委員長。環境省、金融庁、内閣府、農水省等の各種委員。

木村 晋氏 日本政策投資銀行 サステナブルソリューション部長



日本開発銀行入行。同行国際業務部、審査部等を経たのち、経営企画部にて DBJ の長期ビジョン策定、中期経営計画立案、サステナビリティ経営の立ち上げ(基本方針策定、委員会設立、統合報告書発行など)に携わる。2019 年 6 月より現職。環境格付/BCM 格付/健康経営格付の評価認証融資や、SLL/TL などのサステナブル・ファイナンス、コンサルティングサービスを統括。東京大学法学部卒、米国ロチェスター大学 MBA(2002)、米国コロンビア大学客席研究員(2019)。

林 真弓氏 住友化学 レスポンスブルケア部 主席部員



住友化学入社。低燃費タイヤ向け合成ゴムの研究開発を経て、2011 年より、エネルギー・Scope1,2,3 管理、LCA/CFP 等に従事。環境貢献製品・技術の認定プロジェクト Sumika Sustainable Solutions を立ち上げ、環境貢献の可視化に取り組む。東京工業大学 博士(工学)、成蹊大学 非常勤講師。(一社)石油化学工業協会 LCA/LCI WG 主査、日本 LCA 学会委員など。

水谷 高氏 芙蓉総合リース 参与 CSV 推進室長



芙蓉総合リースにて総合リース会社初となる RE100 加盟(2018)をはじめ、CSV 推進室、CSV 推進委員会の立ち上げ、中期経営計画におけるサステナビリティ戦略(非財務戦略)の策定に携わる。2019 年 4 月より現職。前職、みずほフィナンシャル・グループでは人事部、法務部等に従事(1988~2017)、東京大学法学部(1988)、ハーバードロースクール LLM(1993)

山本 卓也氏 滋賀銀行 総合企画部 サステナブル戦略室 サステナブル推進グループ長



滋賀銀行入行。営業店勤務や本部コンサルティング部門を経た後、総合企画部サステナブル戦略室(旧 CSR 室)に異動。サステナビリティ戦略の立案(サステナビリティビジョンの起案、サステナビリティ方針の策定、国連責任銀行原則への署名対応等)、SDGs コンサルティングの企画等に携わる。2022 年 6 月より現職。同志社大学卒。

テーマ：クライメート・トランジション

日本からの問題提起となったクライメート・トランジションについて議論を実施し、今後の展望を検討。具体的には、「トランジションファイナンス」のコンセプト構築に関する想いを振り返りつつ、同コンセプトに基づいたメガバンクの取り組みや、脱炭素化へのファイナンスを巡る現状を紹介し、今後の発展に向けた方策、更にはそれを踏まえた UNEPFI 署名機関の活動に対する期待について議論。

ファシリテーター

竹ヶ原 啓介氏 日本政策投資銀行 設備投資研究所長



一橋大学法学部卒業後、日本開発銀行入行。フランクフルト首席駐在員、環境・CSR 部長、執行役員産業調査本部副本部長などを経て、2023 年 6 月より現職。企業の環境対応を評価し、融資条件に反映させる世界で初めての融資プログラムである「DBJ 環境格付融資」の創設など、非財務情報を活用した金融分野の企画・調査や産業調査業務に長らく従事。環境省「中央環境審議会」臨時委員など公職多数。

パネリスト(五十音順)

太田 悟史氏 三菱 UFJ 銀行 サステナブルビジネス部 業務推進グループ次長



三和銀行(現三菱 UFJ 銀行)に入行。グループ証券会社にて債権流動化、10 年以上に亘り、銀行の国内外の拠点にてプロジェクトファイナンス(インフラ・再エネ)やアジアでのインフラ開発関連業務に従事。2021 年より現職。サステナブルビジネス部設立時から、サステナブルファイナンス・トランジションファイナンスの推進、TCFD 開示に係るコンサルサービスの提供など、幅広く所管。
神戸大学 大学院 経済学研究科(2001)卒

梶川 文博氏 経済産業省産業技術環境局 GX 金融推進室長 兼 GX 推進機構設立準備室長



2002 年、経済産業省に入省。中小企業金融、IT 政策、デザイン政策、経済成長戦略の策定、産業競争力強化のための人材育成・雇用政策、省内の人事企画・組織開発、ヘルスケア産業育成、マクロ経済の調査分析等を経て、2019 年から環境経済室長として GX 政策を担当。
2023 年 7 月から現職。
一般社団法人 FCAJ の理事も兼務。

佐野 和秀氏 三井住友銀行 サステナブルソリューション部 ソリューショングループ長



三井住友銀行入行。東京・シンガポール・NY に駐在し電力・インフラ関連のプロジェクトファイナンスやストラクチャードファイナンス案件に従事。
2022 年 4 月より現職、トランジションファイナンスの方針策定や実務に携わる。
ハーバード・ビジネス・スクール MBA(2016)。米国公認会計士。

田吉 禎彦氏 脱炭素化支援機構 代表取締役社長



(旧)日本興業銀行、入行。(旧)みずほコーポレート銀行を経て、日本政策投資銀行入行。これら各行にて、ストラクチャードファイナンス、シンジケートローン等の仕組み金融、市場型間接金融に携わり、同行、シンジケーショングループ長、審査部担当部長。その後、グリーンファイナンス推進機構常務理事を経て、2022 年 10 月より現職。脱炭素関連の金融に携わる。
1987 年京都大学法学部卒業。

新見 泰寛氏 みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部 副部長



2000 年にみずほ銀行入行。中小企業から大企業まで、幅広く法人営業を経験。その後、メザニンファイナンス(ハイブリッドファイナンス他)の活用を推進する部署を経て、電力や鉄道等のインフラ企業のカバレッジを経験。
2022 年 11 月より現職にて、サステナブルビジネスの企画立案・推進に取り組んでいる。

17:15-17:45 パネルディスカッション④

テーマ :社会課題に対する金融の役割

グローバルな観点を交え、環境課題に限らず広く社会の課題解決に金融が果たす役割を検討。ダイバーシティやガバナンスの重要性、機関投資家の果たす役割、フィランソロピー資金との役割分担等、今後の展望を幅広く議論。

ファシリテーター

中空 麻奈氏 BNPパリバ証券 グローバルマーケット統括本部副会長



野村総合研究所入所。野村アセットマネジメントに転籍後、クレジットアナリスト。以降、モルガンスタンレー証券、JP モルガン証券にてクレジットアナリストに従事。2008年にBNPパリバ証券にクレジット調査部長として入社、2018年7月よりチーフESGアナリストを兼務。2020年2月より現職。2021年11月より経済財政諮問会議民間議員。財政制度調査会委員、税制調査会ほか政府や業界団体の委員を務める

パネリスト(五十音順)

石井 菜穂子氏 東京大学理事、未来ビジョン研究センター教授、グローバル・commons・センター ディレクター



1981年大蔵省(現財務省)入省。国際通貨基金(IMF)エコノミスト、世界銀行ベトナム担当、世界銀行スリランカ担当局長などを歴任。2010年財務省副財務官。2012年地球環境ファシリティ CEO。2020年8月より東京大学理事、未来ビジョン研究センター教授。新設されたグローバル・commons・センターのディレクターとして、人類の共有財産である「グローバル・commons」の責任ある管理について、国際的に共有される知的枠組みの構築を目指している。東京大学博士(国際協力学)。

岸本 幸子氏 パブリックリソース財団 代表理事・専務理事



東京大学教養学部卒。民間研究所勤務を経て、New School for Social Research(米国)非営利マネジメント修士課程終了。米国のNPOの現場で資金調達と助成事業の実施に携わった経験を活かし、2000年に「パブリックリソースセンター」の創設に参画。現在、非営利マネジメント、寄付・融資システム等の非営利活動を支える資金基盤の開発、SRI(社会的責任投資)、企業の社会的責任等をテーマに活動中。立教大学大学院、横浜国立大学大学院で非常勤講師。公益財団法人公益法人協会評議員他。

越 直美氏 三浦法律事務所 弁護士



西村あさひ法律事務所などを経て、2012年から20年まで大津市長。当時最年少の女性市長として、待機児童ゼロや人口増加を達成。現在は、三浦法律事務所パートナー弁護士として、日米クロスボーダー取引、公民連携、スマートシティに注力。OnBoard株式会社CEOとして、女性役員の育成・紹介。ブイキューブ、ソフトバンクの社外取締役。北大院・ハーバード大学ロースクール修了。日本・ニューヨーク州・カリフォルニア州弁護士。著書「公民連携まちづくりの実践—公共資産の活用とスマートシティ」(学芸出版社)。

17:45-17:55 総括

増田 真男氏 日本政策投資銀行 常務執行役員

17:55-18:00 閉会挨拶

地下 誠二氏 日本政策投資銀行 代表取締役社長

18:00-19:00 立食レセプション

乾杯挨拶：太田 充氏 日本政策投資銀行 代表取締役副社長

閉会挨拶：水口 剛氏 高崎経済大学 学長